

令和4年度(令和5年度入試)

練馬区立石神井中学校

進路ガイド

第1集

3年____組____番 氏名_____

目 次

| | | |
|--------------|-----------------------|-------|
| 自己実現に向けて | 校長 櫻井 弘 | ・・・2 |
| No. 1 | 目標をもつこと | ・・・3 |
| No. 2 | 進路を考えよう | ・・・5 |
| No. 3 | 令和4年度 進路指導年間計画 | ・・・8 |
| No. 4 | 過去3年間の進路先一覧 | ・・・9 |
| | 1 都立・高専・国立 2 私立校 | |
| No. 5 | 都立校の入学選抜について | ・・・11 |
| No. 6 | 私立高の入試について | ・・・13 |
| No. 7 | その他の入試制度 | ・・・15 |
| No. 8 | 推薦入試について | ・・・16 |
| | 1 都立校 2 私立校 | |
| No. 9 | 保護者の皆様へ | ・・・18 |

自己実現に向けて

校長 櫻井 弘

いよいよ皆さんにとって大切な進路選択の時期を迎えました。中学校卒業後、どのような自分でいたいのか、考え・悩み・決定していきましょう。

「進路」というと、皆さんは上級学校への進学のことを考えがちですが、将来に向けて自分が進むべき方向のすべてが「進路」になります。上級学校へ合格することがゴールではなく、新たなスタートであることを忘れてはいけません。これからの長い人生を見据え、「将来、どのような生き方をするのか」、「将来、自分が自分らしく生きるには、どのようなことを学ばよいか」を考えながら、自分の進路を決めるようにしてください。「今、何をすればよいか」、「自分に合った進路は何なのか」などなかなか決められずに、悩むことがあるかも知れません。そして、大変なプレッシャーやストレスがかかるかもしれません。しかし、目を背けずしっかり向き合ってみてください。皆さんの周りには、友だちや家族、先生方など一緒に考えてくれる多くの味方がいます。自分の望む進路を選択し、その道を切り開いていくことができるように、計画的に学習に取り組み実力を付け、進路に関する正しい知識や情報を収集し、家族や先輩、先生方の助言を参考に考えていきましょう。そして、最後は自分自身が納得して決断していきましょう。

保護者の皆様にお願ひがあります。生徒一人一人の進路は勝ち負けではなく、他の生徒と比較するものでもありません。生徒の性格や特性、家庭状況等を踏まえながら、納得できる進路決定となるように、人生の先輩として助言してあげてください。その際、次のような点にご配慮ください。

- お子さんとの対話の時間を大切にしてください。その中で、将来に向けて、「どのような生き方」をしたいか、「自分の考え」をもたせてください。
- 合格できる学校ではなく、「3年間学び続けられる学校」、「より自分を成長させてくれる学校」を一緒に考えてあげてください。また、お子さんの適性や性格を的確に把握した上で、進路決定について助言してあげてください。お子さんのことを一番よく知っているのは、保護者の皆様です。
- 進路に関連する資料や情報をしっかりと収集し、それらを参考にしながら進路を決めさせてください。学校からも進路に関する情報や手続きの詳細等、多くのことをお伝えしていきます。何か疑問に思ったこと、わからないことは、遠慮なく担任や学年の教員等にご相談ください。

石神井中学校では、学年の教員を中心として、学校全体で、3年生のことを支援していきます。中学校生活のまとめの一年間が、充実した一年間となるよう、これからもご理解・ご協力をお願いいたします。

No. 1 目標をもつこと

「人間は、目標を追い求める生き物だ。」

目標に向かい努力することによってのみ、人生が意味あるものとなる。」

これは古代ギリシャの哲学者アリストテレスの言葉です。人生において目標を持つことは大切です。しかし、目標は人それぞれ違います。一つの考え方として、生きているすべての人の目標は、人それぞれ形は違うけれど「幸せになる」ことではないでしょうか。

もちろん、自分の幸せの追求が他の誰かの幸せを妨げることがあってはならないことですが、それさえ守れば、自分の幸せはいくらでも追求してよいはずで。では、幸せとは何でしょうか、人によって違いがあってもいいのですが、共通していることは、「自分のやりたいことを自分で決められているか」ということに尽きます。

自分の考えに自信を持ってないと、どんなことでも人任せにし、その責任を負うことをしません。やるべきことから逃げて、向き合おうとしません。人の助言に耳を貸さず、狭い範囲でしか考えません。ただ幸せそうな人をながめ、自分の未熟をただ不運のせいにして暮らしていく。これでは幸せから遠ざかってしまいます。皆さんの持っている力、可能性はまさに人それぞれ。自分を見つめ、自分を知り、自分をよりよく育てられるのは、今のあなたしかいないのです。

まずは、今の自分を見つめ直す10個のQにYES or NOで答えてみてください。答えを決めたら右のページを開けてみよう。

<学校の勉強について>

- Q1 課題や小テストの勉強は自宅でやっていますか？
- Q2 授業中、先生の説明や指示を理解し、発言をするなど意欲的に参加していますか？
- Q3 自分で計画を立てて、勉強をできていますか？

<勉強のやり方について>

- Q4 この一年間の学習計画を立てられていますか？
- Q5 勉強ともうひとつ頑張れているものはありますか？

<進路を決めるまでに必要なこと>

- Q6 高校でやりたいことは見つかっていますか？
- Q7 中学卒業後の進路について、保護者の方の意見は知っていますか？

<自分自身のことについて>

- Q8 自分の将来なりたい職業・めざす職業はありますか？
- Q9 自分の良さをわかっていますか？
- Q10 やりたいことがあり、それをできていますか？

| | Y E S | N O |
|------|---|--|
| Q 1 | 学ぶことを習慣にできたことは一つの才能です。今後とも大切にしていきたいでしょう。 | 一日24時間のうち、10～15分からでも少しずつ学習する習慣をつけていきましょう。「後回し」から「先を見通して」へ転換していきましょう。 |
| Q 2 | 一つ一つの学びを大切にできていて素晴らしいですね。今後とも続けていきましょう。 | まだ授業を受けさせられていると思っていませんか？あなたのテストの点数やそれこそ未来に役立つチャンスを探しに来てみたりもりで、授業を大切にしましょう。 |
| Q 3 | 計画を立てても、全て計画通りにはいきません。適宜計画の修正もしていきましょう。 | 過去を振り返り、今を変えないと結果は変わりません。計画を立てるだけでなく、自分についても深く知っていくことも大切です。 |
| Q 4 | 見通しをもつ能力 目標をもつ能力 実践する能力 修正する能力・・・ 高めていこう。 | 入試を考えているのなら、①1,2年生の復習、②今の授業の予習復習、③入試問題の解き方を知る。もう、受験は始まっていますよ！ |
| Q 5 | 魅力ある人 常に余力をもつ人 視野を広くもてる人 集中できる人 計画を立てられる人 | 一生懸命夢中になれることをもっている人はとても魅力的。一つのことが上手いいかないときは、ちょっと時間をおいて別のことを手がけられる。好きなことはいつでも新鮮にしておくことだ。 |
| Q 6 | 「やりたいことがある人」になれるためには、学校を知ることはもちろんですが、もっと自分を知ること大切です。 | 「進学したい人」はどうしても合格することをゴールにしがちです。入試が近づいたり、一度不合格になったりすると誰でもそうやってしまいます。直前の焦りと動揺は、今の努力で軽減できるはずですよ。 |
| Q 7 | 表面的なことだけでなく、あなたの考えもきちんと伝えておきましょう。 | 家庭でゆっくり時間がとれないときもあるでしょう。あらためて時間を作るときは「進路希望調査」をネタにしよう。互いが顔を見ながら話ができる環境をあなたから作ろう。 |
| Q 8 | とても恵まれていて幸せなことです。しっかりと夢で終わらせない手立てはできていますか。 | 中学卒業でとても環境が変わります。新たな人との出会いも増えます。多くの人の夢や生き方に大いに影響されてください。また、あなたの生き方も他の誰かを高めるものにしていきましょう。 |
| Q 9 | きっと、みんなも魅力に感じているはずです。 | あなたの良さとは、けっして人より優れていなければいけないものではありません。一番でなくてもいいし、褒められた経験がなくても大丈夫です。大人になるまでに磨き、たくましく育てていきましょう。 |
| Q 10 | 人生いつでもうまくいくとは限らない。また、今に満足しきっていてもいけない。日々気持ちを新たに、自ら考え行動していこう。 | やりたいことを阻害しているものは何ですか。人や環境のせいだと思っていればそれは間違いです。あなたが変わり、本気でやれば、まわりの援助にも気づけるはずです。また、やりたいことを見つけられずにいることは、現代の社会では不思議なことではありません。その時は、やはり自分で考え、発想の転換してみましょう。今までと同じことをしても、同じ結果に行きついてしまいますよ。 |

No.2 進路を考えよう

中学校卒業後の進路は主に「進学」と「就職」の二つに分かれます。

1 進学について

① 高等学校

学校教育法 第 50 条によると、「中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育、専門教育を施すことが目的」とされています。簡単にいうと、中学校で学んだ教育を基本とすると、高校はその応用編を学ぶ機関。高校に入学できる最低年齢は 15 歳となっていて、上限は法令で定められていないので、最低年齢を超えていれば何歳でも入学できますが、いずれにしても高校受験が必要となり、自分の学力や目的に合った高校へ進むのが一般的です。

～高等学校の種類～

i) 都立高校(公立高校)

都道府県など地方自治体が設置した高等学校のことです。東京都が設置した公立高校は都立高校と呼ばれます。都立高校に通うためには都内在住であることが条件です。また、都立高校以外の公立高校(県立高校)を受験する場合は、入試制度が違いますので早めに担任の先生に相談してください。

(参考資料)東京都教育委員会公式 HP「見つけよう、自分が行きたい学校」



ii) 私立高校

民間による学校法人が設立した高校です。男子校、女子校など男女別の学校もあります。学校それぞれ理念にのっとった教育を行なうなど、学校の特色がはっきりしているのが特徴です。

(参考資料)東京私立中学高等学校協会公式 HP「東京私学ドットコム」



iii) 国立高校(こくりつこうこう)

国が設置した高等学校です。都内には、お茶の水女子大学附属高等学校、筑波大学附属高等学校、筑波大学附属駒場高等学校、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京工業大学附属科学技術高等学校、東京学芸大学附属高等学校(中高一貫)などがあります。

～高等学校の課程～ ※都立高校を例として

課程とは、簡単に言うと高校への「通い方」の違いです。現在では、様々な「通い方」を選べるようになっています。

| | | |
|--------------|-------|--|
| 全日制 (学年制) | 150 校 | 朝から午後までの日中に授業があり、学習する教科・科目が学年ごとに定められています。修業年限は 3 年です。 |
| 全日制 (単位制) | 23 校 | 朝から午後までの日中に授業があり、必修(必履修)科目の他に自分に適した教科・科目を選択することができます。学年制よりも、自分で選択できる教科・科目が多いことが特徴です。修業年限は 3 年です。 |

| | | |
|------------------|-----|---|
| 定時制 (学年制・夜間) | 38校 | 夕方から夜にかけて授業があり、学習する教科・科目が学年ごとに定められています。修業年限は4年(一部の学校では3年も可)です。 |
| 定時制 (単位制・昼夜間) | 11校 | 午前(1部)・午後(2部)・夜間(3部)の中から自分の所属する部を選び、各時間帯の授業を受けます。他の部の授業も受けることができ、自分で選択できる教科・科目が多いことが特徴です。修業年限は4年(3年も可)です。 |
| 定時制 (単位制・夜間) | 5校 | 夕方から夜にかけて授業があり、必修(必履修)科目の他に自分に適した教科・科目を選択することができます。学年制よりも、自分で選択できる教科・科目が多いことが特徴です。修業年限は4年(3年も可)です。 |
| 通信制 | 3校 | 自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、月2日程度定められた日に登校し、通学して先生から授業(「面接指導」や「スクーリング」とも呼びます。)を受けます。修業年限は3年です。 |
| 中等教育学校・ 附属中学校 | 10校 | 都立の中等教育学校・附属中学校は、最初の3年間(中学校相当)を前期課程、後の3年間(高校相当)を後期課程といい、後期課程からの入学者の募集はありません。 私立高校では、後期課程からの入学がある学校も多くあります。 |

～高校の学科について～

高校の学科は大きく分けると「普通科」「専門学科」「総合学科」に分けられます。主に、高校で学ぶ内容によって分かれています。

| 種類 | 内容 | 高校卒業後の進路 |
|------|---|--|
| 普通科 | 中学校と同様に、各教科(国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、外国語など)を中心に学習します。重点を置くコース制を導入している学校もあります。 | 大学、短期大学、専修学校など進学する生徒が多い。 |
| 専門学科 | 特定の分野の専門知識・技術・資格を得るための教育を行う学科です。高校で資格などの取得を目指すことができ、就職には有利になることがあります。 | 就職や専門学校に進学する生徒が多かったが、近年は大学に進学する生徒もいる。ただし、推薦などの受験方法が多い。 |
| 総合学科 | 国語や数学などを学ぶだけでなく、工業や商業、農業、福祉、看護、美術などの幅広い選択科目の中から、自分の進路希望に合った科目を選択して学習する学科です。 | 就職や専門学校に進学する生徒が多かったが、近年は大学に進学する生徒も多い。 |

(参考資料)東京都教育委員会 HP「各課程、学科、指定校・推進校等に関する内容説明」



② 高等専門学校

中学校卒業生を対象とした、修業年間5年間の一貫した専門教育を行う、大学と並ぶ高等教育機関です。卒業生には準学士の称号が与えられます。学科は、機械工学、電気、電子工学、情報にかかわる学科等があります。また、高専卒業生を3年生に編入させる大学や、高専卒業生のために設置された大学院レベルの大学もあります。都内には国立東京工業高専(八王子)、都立産業技術高専(品川、荒川)、私立サレジオ高専(町田)があります。都立高専の応募資格は、都立高校と同じです。都立高校より先に入試があり、出願は両方にできます。ただし、都立の高専に合格した場合には、一般の都立高校は受検できません。

(参考資料)東京都立産業技術高等専門学校公式 HP



③ 専修学校(高等専修学校)

専修学校は、昭和 51 年に新しい学校制度として創設されました。学校教育法の中で専修学校は、「職業若しくは實際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」ことを目的とする学校であるとされ、実践的な職業教育、専門的な技術教育を行う教育機関として、多岐にわたる分野でスペシャリストを育成しています。専修学校には、入学資格の違いにより、3 つの課程があります。中学卒業者は高等課程と一般課程に進学することができます。

④ 職業能力開発センター(若年層・義務教育卒業程度)

機械または溶接の技能を身につけられます。卒業後、ハローワークの紹介より就職を斡旋してくれます。

(参考資料)東京都 TOKYO はたらくネット



2 就職について

就職に関しては、「ハローワーク(公共職業安定所)」を通して紹介してもらった場合と、縁故によるものがあります。また、昼間は働きながら夜間の定時制高校に通い働きながら学ぶ方法もあります。企業内高校といい、給料を貰いながら学び就職できる学校もあります。

就職希望の場合は早めに担任の先生に相談してみてください。

No.3 令和4年度 進路指導年間計画

| | 生徒 | 保護者 | 学校行事(3年生関係) | Memo |
|----------|---|---|--------------------------|------|
| 4月 5月 | 進路学習 ・学習計画 ・適性・選び方 | 22 保護者会 ・進路日程 ・推薦基準 | 19 全国学力調査 28 離任式 | |
| 6月 | 11 進路講演会 領域診断テスト① | 進路希望予備調査 | 15～17 期末考査 | |
| 7月 | 8 進路説明会① 進路希望調査① 21～27 三者面談 | | | |
| 8月 | 学校訪問・説明会参加 24～26 学力補充教室(地域未来塾) | | | |
| 9月 | 進路希望調査② | | 5～7 修学旅行 20～21 中間考査 | |
| 10月 | 領域診断テスト② 21 進路説明会② 進路希望調査③ | | 13 合唱コンクール | |
| 11月 | 10月31～11月4日 進路面談 面接練習 調査書記載事項 受験写真撮影 進路希望調査④ | | 9～11 期末考査 27 ESAT-J | |
| 12月 | 自己PRカード 作文練習 | 1～7 三者面談 推薦願 調査書作成願 | 15 入試相談 | |
| 1月 | 出願準備 集団面接練習 願書作成 | 15～私立高推薦出願 22 入試 12～18 都立高推薦出願 26,27 入試 25～私立高一般出願 | | |
| 2月 | 出願準備 願書作成 受験報告書 | 1～7 都立高一次出願 10 私立高一般入試・発表 21 都立高一次・前期入試 | 22～27 学年末考査 卒業行事実行委員会 | |
| 3月 | 進路報告 | 1 都立高一次発表 6 都立高 後期・二次出願 9 都立高 後期・二次入試 15 都立高 後期・二次発表 | 卒業行事 卒業式練習 17 卒業式 | |

No. 4 過去3年間の進路先一覧

| < 都立・高専・国立 > | | R1 | | R2 | | R3 | | | | R1 | | R2 | | R3 | |
|--------------|------|----|----|----|----|----|----|--------|----------|----|----|----|----|----|----|
| | | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 普 通 科 | 日比谷 | | | 1 | | 1 | 2 | 普通科 | 国立 | | | 1 | 1 | | |
| | 戸山 | 1 | 2 | | 1 | 3 | 1 | | 東村山 | | | | | 1 | |
| | 竹早 | | 1 | 1 | | 3 | 2 | 普通科 | 新宿 | | 3 | 3 | 2 | 1 | 1 |
| | 小山台 | 1 | | | | | | 単位制 | 国分寺 | 1 | 1 | | | | |
| | 目黒 | | 1 | | | | | | 板橋有徳 | | | 1 | | | |
| | 桜町 | | 1 | | | | | | 大泉桜 | 2 | 3 | 2 | 4 | | 4 |
| | 青山 | 1 | | 3 | | 1 | | 農業 | 農業 | | | | | 1 | |
| | 鷺宮 | 5 | 2 | 5 | | 1 | 1 | | 農芸 | | 1 | | 1 | 3 | 2 |
| | 富士 | 1 | | | | | | 工業 | 中野工業 | 1 | | | | | |
| | 武蔵丘 | 1 | 3 | 2 | 5 | 2 | 2 | | 杉並工業 | 3 | | 4 | 1 | | |
| | 杉並 | | | 1 | | | | | 練馬工業 | 2 | | | | 3 | |
| | 豊多摩 | 5 | | 3 | | 1 | | 業 | 田無工業 | 1 | 1 | 1 | | 1 | |
| | 西 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | | | 多摩科学技術 | 1 | 1 | | | | 1 |
| | 豊島 | | 1 | 1 | 3 | | | 商業 | 第四商業 | 3 | | | | | 1 |
| | 文京 | 3 | 1 | 3 | 1 | 3 | | | 千早 | 1 | 1 | 1 | | | 1 |
| | 竹台 | 1 | | | | | | 福祉 | 赤羽北桜 | | | | 2 | | 1 |
| | 板橋 | | 1 | 3 | | 2 | | 芸術 | 総合芸術 | | 1 | | | | |
| | 北園 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | 体育 | 駒場 | | 1 | | | 1 | |
| | 井草 | 1 | 2 | 1 | 2 | | 1 | 国際 | 国際 | | | | | 1 | 1 |
| | 大泉 | 1 | 2 | 1 | 1 | | | 総合 | 杉並総合 | | 1 | | | | 1 |
| | 石神井 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | | 王子総合 | 1 | 1 | | | | 1 |
| | 田柄 | | | | 1 | 1 | 1 | | 晴海総合 | | | | 1 | | 1 |
| | 練馬 | 5 | | 2 | 1 | 2 | | | 東久留米総合 | 1 | | | 1 | | |
| | 光丘 | 2 | 1 | 1 | 1 | 8 | | 高専 | 産業技術高専 | | | | | | |
| | 立川 | | 1 | | | | | 国立 | お茶の水 | | | | | | |
| | 武蔵野北 | | 1 | | 1 | 4 | 2 | | 筑波大附 | | | | | | |
| | 小金井北 | | | 2 | 1 | | 1 | | 東工大附 | 1 | | | | 1 | |
| | 小平 | 2 | 2 | | 2 | 1 | 2 | | 東京芸術大学附属 | | | | | | |
| | 小平南 | 1 | | | | | | 定時 | 農芸 | | | | | | |
| | 小平西 | | | | 1 | | | 昼夜間定時 | 新宿山吹(普情) | | 1 | | | 1 | 1 |
| 調布北 | | | | 1 | | | | 荻窪(普) | 1 | 1 | | 2 | 1 | | |
| 東大和 | | | | | | 1 | | 六本木(総) | | | | | | | |
| 清瀬 | 2 | 3 | 1 | | 2 | | | 稔ヶ丘(総) | 3 | 3 | 2 | 1 | 4 | | |
| 久留米西 | | 1 | | 1 | | | | 桐ヶ丘(総) | | 1 | | | | | |
| 田無 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 他県 | 県立高等学校 | 1 | 1 | 4 | 1 | 2 | 1 | |
| 保谷 | 4 | 3 | 1 | 2 | 3 | 3 | 特支 | 特別支援学校 | 3 | 3 | 9 | 2 | 6 | 4 | |

| < 私立 > | | R1 | | R2 | | R3 | | | | R1 | | R2 | | R3 | | |
|-------------|-----------|----|----|----|----|----|----|--|------|-------------|----|----|----|----|----|---|
| | | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | | | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | |
| 男子校 | 岩倉 | 1 | | | | 2 | | | | 専修大附 | | 1 | | 3 | | |
| | 開成 | | | | | 1 | | | | 大成 | 2 | 1 | | 2 | | |
| | 科学技術学園 | 1 | | | | | | | | 大智学園 | 2 | 1 | | | | |
| | 学習院 | 1 | | | | | | | | 大東文化大第一 | | 1 | 2 | 2 | 1 | |
| | 慶応義塾 | | | 3 | | | | | | 拓殖大第一 | | | | 1 | 1 | |
| | 京華 | | | | | 2 | | | | 中央学院大学中央 | | 1 | | | | |
| | 城北 | | | 1 | | | | | | 中央大杉並 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| | 日大豊山 | 2 | | | | | | | | 中央大附 | 1 | | | | | |
| | 日本学園 | | | | | 1 | | | | 貞静学園 | | | 1 | | 2 | |
| | 保善 | 1 | | 1 | | 8 | | | | 東亜学園 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | |
| | 明大中野 | 1 | | | | | | | | 東海大高輪台 | 1 | | | 1 | | |
| 女子 | 慶応義塾女子 | | | | | | 1 | | | 東京音楽大付属 | | 1 | | | | |
| | 十文字 | | | | | | 1 | | | 東京実業 | 1 | | | | | |
| | 東京女子学院 | 2 | | 7 | | | | | | 東京女子学院 | | | | | 2 | |
| | 東京家政大附属女子 | 1 | | 1 | | | | | | 東京電機大 | | | | 1 | | |
| | 豊島岡女子学園 | 1 | | | | | | | | 東京農大第一 | | | | 1 | | |
| | 日体桜華 | 1 | | | | | 1 | | | 東京立正 | 2 | 1 | | 2 | | |
| | 日大豊山女子 | | | 1 | | 1 | | | | 豊島学院 | 4 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | 富士見丘 | | | 1 | | | | | 共 | 日大桜丘 | | | 2 | 2 | | |
| | 藤村女子 | 1 | | 1 | | | | | 学 | 日大第二 | 1 | 1 | 2 | 1 | 4 | 1 |
| | 文京学院女子 | 1 | | | | | | | 校 | 日大鶴ヶ丘 | 3 | 1 | 1 | | 1 | 1 |
| | 文華女子 | | | 1 | | | | | | 日本工業大学駒場 | | | 1 | | | |
| 共 学 校 | 郁文館 | | | 1 | | | | | | 八王子 | 1 | | | | | |
| | 関東国際 | | | | 1 | | | | | 広尾学園小石川 | | | | | 1 | |
| | 錦城 | 1 | 3 | 2 | 4 | | 3 | | | 文化大杉並 | 1 | 2 | 1 | | 1 | |
| | 錦城学園 | | | 1 | | | | | | 法政大学 | | | | | 1 | |
| | 京華商業 | | | 1 | | | | | | 宝仙学園(理数) | 1 | | | | | |
| | 啓明学園 | | | | | 1 | | | | 豊南 | 2 | | 3 | 1 | 2 | 1 |
| | 國學院 | 1 | 1 | 1 | | | | | | 星野 | 1 | | | | | |
| | 国学院久我山 | | | 1 | | | | | | 細田学園 | | | 1 | | | |
| | 駒場学園 | | | 1 | | | | | | 堀越 | | | 2 | | | |
| | 桜丘 | | | | | | 1 | | | 明星学園 | | | 1 | 2 | | |
| | 実践学園 | 1 | 1 | | | | 1 | | | 武蔵野音大附 | | | | | | |
| | 芝浦工業大学附属 | | | | 1 | | | | | 武蔵野 | | | 1 | | 1 | |
| | 自由ヶ丘学園 | | | | | 1 | | | | 武蔵野大学 | | 3 | | 3 | 2 | 2 |
| | 淑徳 | | | | | 2 | | | | 明治学院東村山 | | | 2 | | | |
| | 淑徳巣鴨 | 1 | 2 | | | | 1 | | | 明大中野八王子 | | | | | 1 | |
| | 城西大城西 | | | | 1 | | 2 | | | 明法 | | | | | 1 | |
| | 昭和鉄道 | 2 | | 3 | | | | | | 目黒日大 | 1 | | | | 1 | |
| | 杉並学院 | 1 | 1 | | 1 | 3 | | | | 目白研心 | 1 | | 4 | | 1 | 1 |
| | 駿台学園 | | | 2 | | | | | | 早稲田渋谷シンガポール | | | | 1 | | |
| | 成蹊 | 2 | 1 | 1 | | | | | | 早稲田高等学院 | | | 1 | | | |
| 西武台千葉 | 1 | | | | | | | | 通信制 | 6 | 3 | 6 | 3 | 4 | 2 | |
| 西武文理 | | | 1 | | 2 | | | | 専修学校 | | 1 | 3 | 2 | | 2 | |

No.5 都立高校の入学選抜について(令和4年度入試の要綱より)

現在分かっている令和5年度都立高校入学者選抜について

※令和5年度入学者選抜日程…【推薦】1月26・27日【一次・前期】2月21日

※令和5年度入学者選抜よりWeb出願を全面実施する予定です。

※ESAT-J(中学校英語スピーキングテスト)を学力検査に基づく選抜に活用

1. 学力検査に基づく選抜 (一次募集・分割前期募集)

＜学力検査＞ (エンカレッジスクール・チャレンジスクールは、学力検査はありません)

学力検査の教科について、全日制は、5教科(国・数・英・理・社)500点満点とする。

* 出題範囲は学習指導要領に示されている内容とあるが、理科、社会は広範囲にわたり準備する必要がある。

* 検査は原則として各校共通問題で行われるが、令和4年度一次募集において、一部の学校では、独自に作成した学力検査問題3教科(国・数・英)を使用した学校もある。(グループ作成という)

進学重点校:(日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立)

進学重視型単位制高校:(新宿、墨田川、国分寺)

* 英語のみ自校で作成:国際

＜選考方法＞

学力検査と内申の比率

学力検査の結果と調査書に記載された評定(内申点)は合計 1000 点満点になるように換算する。原則比率は7:3とし、合わせたものを「総合得点」という。

面接や作文、実技検査を実施する学校では、さらにそれらの結果を加えて「総合成績」を出し、その順に合格候補者を決定する。

＜入試得点の求め方＞

100点満点×5教科=500点⇒これを1.4倍して700満点に換算する。

＜内申点の求め方＞

学力検査の行われる教科の評定を1倍、それ以外の教科の評定を2倍して合計65点満点とし、それを300点満点に換算する。(65で割って300をかける)

(計算例)

| 国 | 社 | 数 | 理 | 英 | 音 | 美 | 技家 | 保体 | 5科得点 |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|------|
| 5 | 3 | 3 | 4 | 4 | 5 | 3 | 4 | 3 | 350点 |

評定が右上の表で(内申点)学力検査の5教科合計得点が350点だった場合を7:3で計算すると

$$\frac{5+3+3+4+4+(5+3+4+3) \times 2}{65} \times 300 + \frac{350}{500} \times 700 = 226 + 490 = 716$$

換算内申点(小数点以下切り捨て)

結果は、**1000点満点中716点**ということになる。

※ESAT-J(中学校英語スピーキングテスト)の20点満点分が加算され1020点満点となる。

＜志願変更＞

全日制の都立高校の志願者は、願書提出後、1回に限り志願の変更をすることができる。

※ 中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)について

東京都教育委員会は、小・中学校で身に付けた英語によるコミュニケーション能力を、高校でさらに向上させるため、小・中・高校で一貫した英語教育を進めています。

令和4年度から都内公立中学校第3学年生徒を対象に、「中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)」を実施します。

※ 都立入試に活用されますが、全生徒が対象で Web 申し込みが必要です。

(1) 実施日

令和4年11月27日(日)

(予備日:令和4年12月18日(日))

(2) 会場

都立学校、民間施設等

(3) 実施の流れ(都内公立中学校の生徒)

① 申込方法

受験に関する資料等が、在籍中学校から配布されます。

申込方法等の詳細は、配布される生徒用リーフレット及び申込マニュアルで御確認ください。

② スケジュール

◇ 令和4年7月上旬～8月上旬 特別措置申請(該当者のみ。受験申込前に、申請が必要です。)

◇ 令和4年7月上旬～9月上旬 WEBによる申込み

◇ 令和5年1月中旬 テスト結果の受取り(予備日受験の場合は、令和5年1月下旬)

(4) 特別措置

特別な配慮が必要な方向けに、「特別措置」を設定します。複数区分の申請も可能です。ただし、一部の措置区分で同時に申請できないものもあります。

特別措置を希望する場合は、受験申込の前に措置申請を行います。

詳しくは、「令和4年度特別措置に関する案内書」で御確認ください。

詳しくは、リーフレット もしくは Tokyo Portal の HP でご確認ください。



※ 都立入試に活用されますが、受験できなかった場合でも不利にならないように配慮されます。(感染症ややむを得ない理由で受験できなかった場合)

詳しくは東京都教育委員会 HP をご確認ください。



2. 学力検査に基づく選抜(分割後期募集・二次募集)〈募集人員〉

あらかじめ、後期募集を予定している学校もある。

一次募集で定員に達しない場合は、その相当人員について二次募集を行う。

※令和5年度 選抜実施日 3月9日(木)

〈応募資格〉

推薦および一次募集で合格した者、また、私立高校などに入学手続きをした者は応募できない。

〈学力検査〉

国語、数学、英語の3教科で実施し、面接も多くの学校で行われる。

*募集人員が少ないので、相当厳しい入試を覚悟しなければならない。

No.6 私立高校の入試について

私立高校は、独自の教育方針をもち、校風もバラエティ豊かです。教育方針に基づき、徹底した進学指導、あるいは就職指導を行うところも多くなっています。また、大学附属の場合はその大学への優先入学制度をもっている場合があります。ここ数年の傾向として、男子校、女子校が共学校へ移行してきています。

学費は、受験料が20,000円～30,000円、初年度にかかる費用が平均80万円ほどかかります。中には、100万円を超えるところもあります。

【高等学校等就学支援金制度】

国公立校問わず、高校等の授業料の支援として「年収910万円程度」未満の世帯に年間11万円程度支給される。入学した学校で申請することになる。(H30年度から)

【東京都私立高校授業料軽減助成金】

住民税額が一定基準以下(年収目安760万円未満の家庭)に、約45万円(就学支援金と合わせて)の範囲内で、保護者が負担する授業料が上限です。

※その他にも様々な私立高校に進学する人へのサポートがあります。詳しくは下記のQRコードでご確認ください。

東京都私学財団 HP



☆出願に必要な書類は、各自で手続き、もしくは高校の説明会などに参加して用意して下さい。要項は例年10月以降にできあがります。

1. 一般入試 * 都内の場合は2月10日、11日の試験日が多い。

<一般受験>

特別な優遇措置を全く利用せずに受験する形態。

- ・何校受けても何の制約もない。(同一の受験日場合は受けることはできない)
- ・公立高校の一次(分割前期)の合格発表まで延納を認めてくれる場合が多い。※延納願など手続きが必要な場合もあります。
- ・学力試験は、国語、数学、英語の3教科が中心である。
- ・学力試験は学校の特色があり難しい問題が出される場合もある。過去の問題をよく見て傾向をつかむ必要がある。
- ・全募集定員の50%まで推薦(1月実施)で決まり、残りの枠の中でも優遇措置で受験している生徒も多くいるため、合格者は定員よりも多く出すものの、一般入試の募集の枠はかなり絞られてしまっている場合がある。希望する高校がどのような募集方法をとっているか、十分注目する必要がある。

<第一志望優遇>

- ・推薦入試基準に満たない場合でも、合格できたら必ず入学することで、点数加算などが得られる制度を用意している学校もある。
- ※中央大学杉並高等学校を第一志望とする場合、指定校推薦を受けることができる場合があります。詳しくは、三者面談等で担任にご相談ください。

<併願優遇受験>

- ・事前の入試相談を通して、第一志望の高校ではないが、第一志望の受験に不合格の場合に入学したい旨を伝え、当日の学力試験の結果が優遇される制度である。
- ・「第1志望の高校」を公立(都立)高校に限るタイプの高校もあるが、最近では私立でもかまわないという学校も多くなってきている。
- ・高校側から示される基準は、第1志望で受験する推薦入試の基準よりも高い。
- ・学力試験の他に面接を実施する高校もある。
- ・入学金などの費用を第1志望の合格発表まで待ってくれる。
- ・この制度を利用して合格した場合は、都立高校の分割後期・二次募集に出願することはできません。
- ・複数の学校を受験するには、便利な制度であるが、高校への申込み時期が入試相談日(12月15日)ですので、12月の面談までには意思を固める必要があります。

※なお、埼玉県や千葉県など他県の私立高校の入試の日程、選抜方法は東京都と異なりますので、事前によく調べた上で、担任と相談してください。

No. 7 その他の入試制度

海外帰国生徒等の選抜

都立高校では、海外帰国生徒の選抜があり、一般の学力検査に先がけて実施される。
(三田 竹早 日野台 国際 2月15日(水))私立高校でも帰国枠を設けている学校が複数ある。応募資格に海外での在住期間などがあり、それぞれご確認の上、担任にご相談ください。都立国際高校における国際バカロレアコースの入学選抜については、都立高の推薦に基づく選抜と同じ日程で実施する。ただし入学願書は学校へ持参することとし、出願受付期間は1月23日(月)及び24日(火)とする。

都立エンカレッジスクールの選抜

中学校で十分力を発揮できなかった生徒を励ます学校。基礎からもう一度やり直すことができる工夫がされている。学校にしっかりと通えることが必要で、選抜に面接や作文がありますが、学力検査は実施されない。

都立チャレンジスクールの選抜

小中学校時代に不登校経験を持つ生徒を主に受け入れる総合学科・三部制の高校です。午前部・午後部・夜間部から通学時間帯を選ぶことができる。選抜に面接や作文がありますが、学力検査は実施されない。

高等専修学校・サポート校・通信制課程

- ・特に自分のめざすものがあり、高校で学ぶよりも知識・技能を身につけたい。
- ・一般的な高等学校での生活パターンでなく、自分に合ったペースで学習したい。
- ・現段階での学習成果が充分でなく、もう一度勉強し直したい。

などそれぞれの状況に対応しやすい学校で学んでいく手段もあります。中学校にも、多くの学校の先生が来られています。詳しく聞いてみたいときは、各担任にご相談ください。

No. 8 推薦入試について

推薦は、校長名で、学校が行うものです。推薦者については、全教職員で協議し、学校長の最終判断をもって決定します。本校では都立・私立に関わらず、以下の条件を満たすことを基準とします。

石神井中学校の推薦に値する生徒(以下①～⑤の条件をすべて満たす生徒)

- ① 欠席・遅刻・早退が多くない生徒 (正当な理由があり、認められる場合を除く)
- ② 学校や社会のきまりを守り、学校内外での生活態度が落ち着いている生徒
- ③ 各教科を通じて授業態度が良く、意欲的に学習に取り組んでいる生徒
- ④ 委員会・係活動、その他学級の当番活動などを誠実に行うことができる生徒
- ⑤ 進路決定後および卒業後も、推薦されたということを、自覚をもって行動できる生徒
- ⑥ 部活動・外部活動などの推薦においては、上記①～⑤を満たし、さらにその活動でめざましい活躍をした生徒

1. 都立高推薦に基づく選抜

令和4年の面接・実技試験等は1月26日(木)・27日(金)

＜推薦入試の種類＞ ①②のいずれか。または、同一校で両方に出願することができる。

①一般推薦

②文化・スポーツ等特別推薦(以下特別推薦)

スポーツ、英語など項目を示し、それに該当する生徒を募集するもの。約80校で実施。志願者の活動の実績等を証明する書類等の写しを提出する。

＜募集人員＞ 学科やコースによって違うので注意してください。

・各校の募集人員に対し 20%以内～30%以内

・「①一般推薦」と「②文化・スポーツ等特別推薦」を合わせた人数

＜選考方法＞

①一般推薦

・個人面接、小論文または作文、実技検査等については、各高校が基準を決めて点数化する。

②特別推薦

・各高校が自校の教育活動の実績や特色に基づいて基準を定め、面接、実技検査等を組み合わせ、総合的に判断する。

○推薦入試での調査書点は、学習状況や意欲・適正などをきめ細かく評価した観点別学習状況の評価(A・B・C)と必修9教科の評定(5・4・3・2・1)のどちらか一方が活用される。

○自己PRカードは、点数化することなく、推薦選抜資料の一つとし面接の際に活用される。(一般受検では、合格後、各高校が指定する日に提出することになります。)

<応募資格(抜粋)>

- ①その高校が第1志望で強く入学を希望する者であること。
- ②石神井中の学校推薦の基準を満たし、学校長の推薦を受けられる生徒であること。
- ③各高校の「期待する生徒の姿」にあてはまる生徒として、学校長の推薦を得られる者。

例：本校の教育方針である「自らを重んじ個性を伸ばす」「努力を尊び責任を果たす」「心を豊かに体を健やかにする」をよく理解し、向上させる努力のできる生徒で、かつ1～3に該当する生徒

- 1 本校志望の意志が強く、高校生活に対して明確な目的意識をもっている生徒
- 2 自ら学ぶ意欲が旺盛で、中学校生活の学習成績が特に良好な生徒
- 3 基本的に生活習慣が身に付いていて、生徒会活動、行事等に積極的に参加できる生徒

2. 私立高 推薦入試 試験は1月22日前後に行われます。

<応募資格>

- ① 石神井中の「推薦に値する生徒」の条件を満たし、学校長の推薦を受けられる生徒であること。
- ② その高校が第1志望であること。
- ③ その高校から示される成績等の基準を満たしていること。(10月以降の各高校主催の説明会等で提示されます。早いところは6月くらいから提示されます。)

例： 「素内申が9科で34以上、かつ1がないこと」
「3科(国数英)の合計が10以上であること」
「3年間の遅刻、欠席が10日以内であること」以上の全てを満たすこと。

<募集人員>

全定員の50%以内と定められている。

<合否決定までの流れ>

- ①出願の条件を満たし、本人の意志が固いことを確認(合格したら必ずその学校へ進学することが条件のため)する。遅くとも11月末～12月はじめの三者面談で決定。
- ②12月15日から中学校の教員と、高校側とで成績資料等による合否の可能性について入試相談がある。
- ③出願 1月中旬
- ④入試
面接(1対1または1対多数の学校もあり。志望動機・将来の目標・高校で学びたいこと等)
作文(中学校で頑張ってきたことや、これからの抱負など)
調査書(都立形式が多いが、私立統一形式、独自形式の学校もあり、1年次からの成績、出席状況を記入する学校もある。)
適性検査(複数教科の試験を行うところが増えてきている。)
- ⑤発表 1月下旬

<その他の推薦>

上記のような学業成績以外にもスポーツや部活動、芸術、その他の特技をもった生徒を特別に優先する推薦制度をもつ学校もある。

No.9 保護者の皆様へ

中学校での進路指導は、各学級担任が個々の判断で行うのではなく、校長をはじめすべての職員が関わり、学習進路部や学年全体で、一人ひとりの進路選択について、最良のアドバイスができるよう進めています。推薦の可否は、学年会職員会議をもとに校長の判断で行われます。また、面接練習等に対応する管理職、部活動や委員会・日々の授業でかかわる学年以外の教員、進路に関する情報や助言をくれるベテラン教員や、事務的な準備などを確認する多くの教職員の協力で成り立っています。ご心配な点や疑問などがありましたら遠慮なくご相談いただければと存じます。

＜学校説明会・体験入学＞ ※学校説明会は多くの学校が事前予約制です。

近年は、都立高、私立高ともに学校見学、公開授業、学校説明会を積極的に行っています。進学先を決める上で、上級学校へ訪問することは、必ず必要なこととお考えください。どなたかからの情報で「いい学校だ」と言われると、判断がかなり左右されてしまうことがあります。しかし、ある人にとって良くて、別な人に必ずしも良い学校であるとは限りません。そもそも良いかどうかは、あくまで本人の感じ方です。はじめに、何ができる学校なのか、本人が何をしたいのか、ご家庭で明らかにしておきましょう。

- 特色ある学校が増え、特別な学科や多様なシステムがあり、きちんと説明を聞かないとわからないものが数多くあります。ひと手間かけることで、本当に自分に合った学科・コースを知る可能性も広がります。
- 目先の判断で、大学付属校に決めてしまったが、そもそも自分が希望する学部がない大学で、3年後、結局他大学を受験する選び方をしてしまった例がありました。
- 学校によっては、説明会と同時に個人相談会を行う学校があり、その出席を、推薦や併願優遇の要件と考える所もあります。また、都立高の特別推薦も練習会などに参加し、部活の雰囲気などを事前に把握しておきましょう。
- 見学に行かないまま校名だけで受験を決めた結果、入学後思いの外、通学に時間がかかることに気づいた。考えていた部活動が自分で期待したレベルでなかった。等、事前に情報をもつことで防ぐことができた例がたくさんあります。
- 学校説明会は、友達どうしで行くと、どうしても無責任な振る舞いになりがちです。できるだけ保護者同伴で参加され、ご家庭での話題を広げられることが望ましいと思われれます。

＜奨学金について＞

経済的な理由で就学が困難な場合、いろいろな団体による奨学金制度があります。「東京都私学財団」、「東京都育英資金」、他それぞれ応募条件があります。今後も随時、学年だよりやリーフレット等でお知らせしていきます。詳細につきましては、各担任、または、担当の武藤までお問い合わせください。

＜就職について＞

就職を希望する生徒には、ハローワーク池袋を通して就職に関する指導をすすめます。秋までに事業所見学、12月に相談票の提出、1月以降に都内一斉選考が行われます。就職を考えている場合も、各担任、または、担当の小林規子までご相談ください。

縁故就職については、ともすると雇用条件が不明確になりがちです。就職後に賃金・労働時間・休日等に関して問題が発生し、それらを契機として早期に離職するケースが多く見られるため、トラブルを避けるため、ハローワークへ求人申込を行うようお願いいたします。